

平成 30 年 9 月 14 日

関係各位

「非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞移植における検体保存事業」  
にかかるデータセンターへの検体移譲の取り止めについて

非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞移植の発展に寄与するため、日本赤十字社は造血幹細胞提供支援機関として検体保存事業の一翼を担っております。

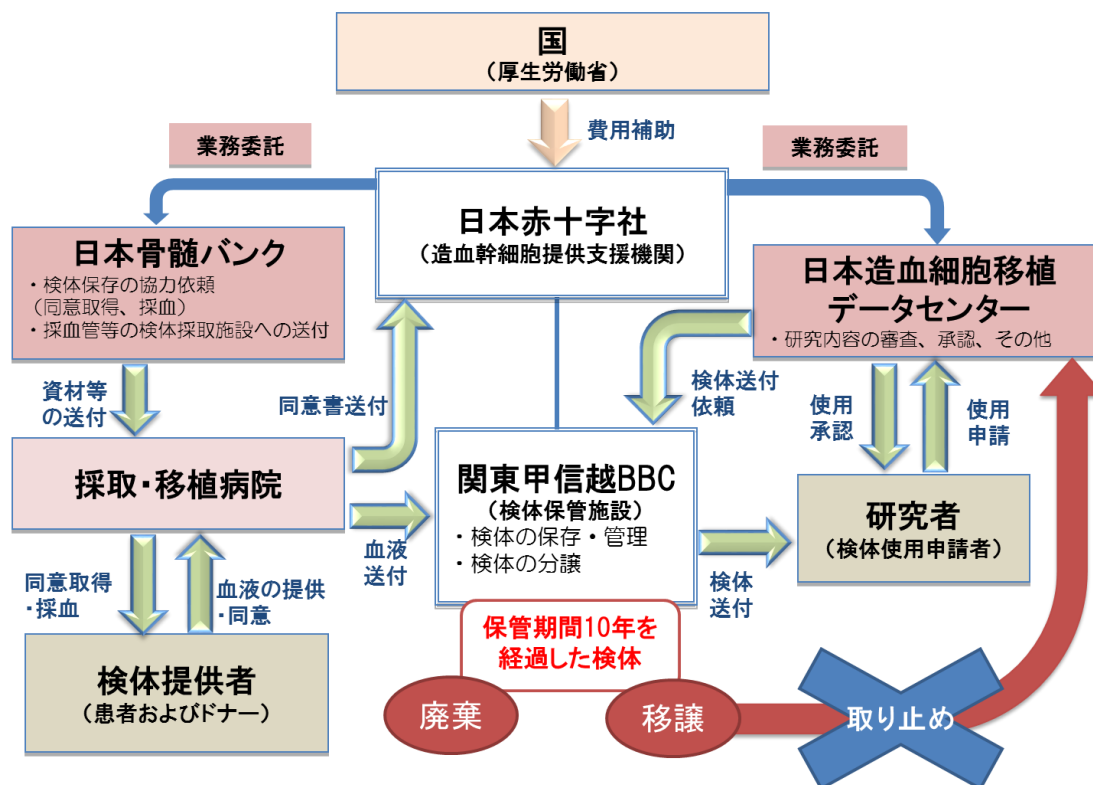
今般、一般社団法人 日本造血細胞移植データセンター（以下「データセンター」という。）から、日本赤十字社が管理する保管期間 10 年を経過した検体の移譲について辞退する旨の申し出があったことから、日本赤十字社からデータセンターへの検体の移譲を取り止めることとしましたのでご連絡いたします。

これにより、今後は日本赤十字社が管理する保管期間 10 年を経過した検体については、実施計画書に基づき廃棄いたします。

- 上記について、詳細は「非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞移植における検体保存事業実施計画書」（平成 30 年 4 月 1 日改訂）をご確認ください。  
該当箇所：10 ページ【第 5 保管期間を経過した同意及び検体の取扱いについて】
- 実施計画書等の倫理審査関連書類一式は以下ウェブサイトからダウンロードできます。  
【造血幹細胞移植情報サービス > 検体保存事業について】  
<http://www.bmdc.jrc.or.jp/specimen/index.html>  
※ダウンロードしたファイルを解凍するにはパスワードが必要です。  
解凍用パスワード：kentai2018
- 添付資料（参考）  
データセンターへの検体移譲の取り止めについて、図で示しております。

【問合せ先】  
日本赤十字社 血液事業本部  
技術部 造血幹細胞管理課 企画係  
zoketsu-k@jrc.or.jp/03-3437-7205

「非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞移植における検体保存事業」  
 にかかるデータセンターへの検体移譲の取り止めについて



日本赤十字社から日本造血細胞移植データセンターへの検体移譲については、上図のとおり取り止めることとなりましたが、検体保存事業実施計画書の内容に変更はありません。